

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.12.5,15 No.123 連絡先 FAX 042-555-1911



## 日米軍事同盟打破 基地撤去 2011年日本平和大会in沖縄が開催

「沖縄から全国へ 広げよう平和の流れ 米軍基地も軍事同盟もない憲法の輝く日本を」をスローガンに、11月25日から27日まで沖縄で、日本平和大会が開催されました。写真右の席



は、海外代表の方々です。11月24、25日の国際フォーラムは6カ国・地域から16名が参加しました。

## 開会集会 那覇市民会館 地元沖縄から 全国から 海外から 1300名の参加者



25日夜の開会集会には1300人が参加、宜野湾市副市長の代理の山内繁雄氏、前宜野湾市長の伊波洋一氏、国会議員の笠井亮氏が来賓挨拶。海外代表が発言し、基調報告のあと、沖縄と全国で闘っている人達がつぎつぎ壇上でアピールしました。

沖縄の北部・高江では、ヘリパッド建設に反対して、この日も工事にきた防衛省役人らと向き合って、非暴力のたたかいが続けられています。辺野古では16年にわたる新基地建設反対の座り込みが続けられていますが、今、環境アセス評価書提出を断念させるたたかいが重要です。



成人式に参加するため沖縄に帰っていた19歳の與儀功貴君が米軍属による交通事故で命を奪われました。地位協定で裁判権は日本にありません。與儀君の友人などが立ち上がり「米軍属の起訴」を世論に訴え、運用面で「起訴」となったことを報告。

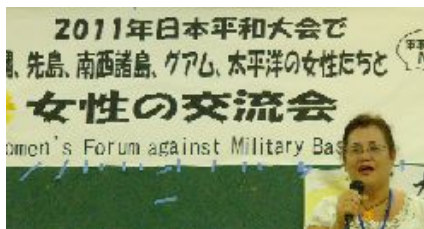
## 2日目は、2つシンポジウム、7つの分科会、3つの動く分科会など多彩に

シンポ1「米軍基地のない平和で豊かな沖縄をどうつくるか」のパネリストは国会議員の赤嶺氏、新婦人の笠井氏、神奈川の鈴木氏、弁護士の仲山氏、岩国の吉岡氏。



## 夜は、沖縄、グアム、太平洋の女性たちと交流会など

平和へ熱い思いの交流会で、会場もいっぱいでした。左写真はグアム平和正義連合のクリストバルさん。母娘で参加。娘さんは母親の平和活動を讃え、今の自分があると語り感動を呼びました。



## 閉会集会は新都心広場

名護市長の稲嶺進氏が「『辺野古の海にも陸にも新基地は造らせない』信念を貫き通す覚悟」と挨拶。集会後はパレードをしました。



写真：稲嶺進氏

# 「(女性を) 犯す前に言うか」 発言に怒り！

11月29日、沖縄の地方紙「琉球新報」の朝刊(右)は、沖縄防衛局の田中防衛局長の「犯す前に言うか」の発言を報じました。辺野古評価書提出をめぐる発言です。28日夜、防衛局が呼び掛けた報道陣との非公式の懇談会の席(那覇市の居酒屋)での、田中局長の発言です。

記者から、環境影響評価(アセスメント)の「評価書」について「一川保夫防衛相が『年内に提出できる準備をしている』との表現にとどめ、年内提出実施の明言を避けていることはなぜか」と問われ、田中聡局長は、年内提出について「これから犯しますよと言いますか」と述べ、年内提出の方針はあるものの、沖縄側の感情に配慮していると発言したようです。田中局長は非公式の懇談の席で発言したが、琉球新報社は発言内容を報じる公共性、公益性があると判断し報道したそうです。

県民が普天間基地の「県外移設」を強く求め、県議会で評価書提出断念を求める決議が全会一致で可決された中、県民、女性をさげすみ、人権感覚を欠いた防衛局長の発言に怒りの声が上がっています。田中聡局長は更迭されました。

沖縄の米軍基地問題に関連し、女性をさげすむ発言は過去にもありました。

「全くばかげている。私が何度も言っているように、彼らは車を借りる金で女が買えた」

1995年9月に沖縄で起きた米兵による少女暴行事件は、沖縄の人々の怒りに火を付けました。同年11月、リチャード・マッキー米太平洋軍司令官は、この事件をめぐる「全くばかげている。私が何度も言っているように、彼らは車を借りる金で女が買えた」と発言し更迭されました。

沖縄米兵少女暴行事件とは、1995年9月4日に沖縄県に駐留するアメリカ海兵隊員2名とアメリカ海軍軍人1名の計3名が、12歳の女子小学生を拉致、集団強姦した逮捕監禁事件です。小学生は粘着テープで顔を覆われ、手足を縛られた上で車に押し込まれ、その後近くの海岸に連れて行かれ強姦され、負傷しました。日米地位協定の取り決めによって、実行犯である米兵3人が日本側に引き渡されず、大きな問題になりました。一川保夫防衛相がこの少女暴行事件を「正確な中身を詳細には知ってはいない」と発言。参院で問責決議が可決(12.9)されました。

## 東京平和委員会15人が ヘリパッド建設反対の高江座り込みに参加



日本平和大会にあわせた東京平和委員会のオプション行動として、11月24日、25日の2日間、15人が高江座り込みに参加しました。2日とも、午前10時から午後4時近くまで、沖縄防衛局から約20人がやってきて「ここをどいてください。工事車両が入れません!」「沖縄の基地の縮小のために、ここをどいてください!」と頭ごなしに大声で呪文のように言い続けるそうです。

(レポートが平和新聞に掲載。写真はレポートを書いた井出さん提供。)



上:「犯す前に言うか」の記事と辺野古(2011.11.28)